

- 第3回定例会
議案の概要と審議結果…… 2面
- 区政のここを問う！
定例会での代表・一般質問
…… 3～5面
- 決算特別委員会を特集
…… 6、7面
- 広島・長崎平和祈念式典に出席
…… 6、7面
- 委員会の活動状況…… 8面
- 請願・陳情の審議結果…… 8面

新宿区議会だより

発行：新宿区議会

☎ (3209)1111(代表) 〒160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号
ホームページアドレス：<http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index08.html>

No. 275

平成28年(2016年)11月15日発行



◀ 特別展「信州高遠藩 歴史と文化」内覧

9月17日 新宿区・伊那市友好提携10周年記念式典
(新宿歴史博物館)



9月20日～10月3日 決算特別委員会



10月1日 自転車シェアリング事業を開始

トップニュース

区民の納得できる予算執行がなされたか

平成27年度の執行状況を「決算特別委員会」にて審査

今定例会では、委員18名からなる決算特別委員会を設置し、平成27年度各会計の執行状況を審査しました。

一般会計の実質単年度収支は26億円余で、3年連続の黒字となりました。歳出面では障害者自立支援給付等の扶助費が増加しているものの、歳入面で特別区民税や地方消費税交付金などの一般財源が増となり、7年ぶりに財政調整基金からの取り崩しのない決算となりました。

特別会計を加えた全会計歳入2,156億7,509万1,457円、全会計歳出2,103億7,652万6,774円の決算を認定しました。

関連記事 2、6、7面

第3回定例会で可決した主な議案

区長提出議案24件と議員提出議案3件を可決

- 漱石山房記念館(早稲田南町7番地)を設置し指定管理者制度を適用する
- 路上等障害物を除去するために必要な事項を定める
- 平成28年度一般会計補正予算(第3号)
 - ・ 中井駅周辺の整備推進
 - ・ B型肝炎ワクチンの定期接種化に要する経費
- 平成28年度一般会計補正予算(第4号)
 - ・ 個人番号カードの交付等
 - ・ 薬王寺ことぶき館の設備整備
 - ・ 保育所等業務効率化推進事業
 - ・ 財政調整基金積立金、社会資本等整備基金積立金

(平成28年12月1日施行)

1億7,095万4千円

1億3,973万5千円

3,121万9千円

21億2,991万3千円

7,689万9千円

6,436万9千円

4,120万円

11億4,677万6千円 など

関連記事 2面

今定例会で議決した意見書 (要旨)

意見書の全文は、区議会ホームページをご覧ください。ただ、議会事務局までご連絡ください。

返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書

学生が安心して勉学に励めるよう、「授業料減免などの支援を拡充するとともに、2017年度を目標に給付型奨学金を創設すること」、「希望する学生等への無利子奨学金の貸与をめぐり」、「有利子から無利子への流れを加速すること」、「低所得世帯に対して、学力基準を撤廃し無利子奨学金を受けられるようにすること」、「新所得連動返還型奨学金制度の制度設計を着実に進め、既卒者への適用も推進すること」などを国会及び政府に求めました。

都市計画交付金の拡充を求める意見書

特別区都市計画交付金が都市計画税に占める割合がわずかであるため、「都区双方の都市計画事業の実績に見合った配分となるよう増額を図ること」、「限定基準を設けず、全都市計画事業を交付対象とすること」、「交付率の上限撤廃や、工事単価の引き上げなど、適切な改善を図ること」を東京都に求めました。

固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書

小規模事業者を取り巻く環境は世界規模の経済状況の悪化等により危機的な状況です。また、多くの都民が、税や社会保障費などの負担増にあえいでいます。固定資産税及び都市計画税の軽減措置について平成29年度以後も継続するよう東京都に求めました。

「漱石忌講演会」のお知らせ

- 【日時】 12月9日(金) 午後3時～5時
- 【会場】 区役所本庁舎 5階 大会議室
- 【内容】 講演「漱石山房に届いた絵はがき」
講師 長島裕子氏
(早稲田大学文学学術院非常勤講師)
- 【費用】 無料
- 【主催】 漱石山房の復元を進める新宿区議会議員の会
- 【後援】 新宿区
- 当日は、漱石の墓参りを予定しています。
場所：雑司ヶ谷霊園(豊島区南池袋) 交通費は各自負担
「墓参り」の希望者は、当日午後1時までに区役所本庁舎1階ロビーに集合してください。
- 【申込み】 11月17日(木)～12月7日(水)に電話で議会事務局調査管理係へ。先着60名程度。
(TEL: 5273-3534, FAX: 3209-9995)

北朝鮮の核実験に対する抗議文を送付

新宿区議会は、北朝鮮が実施した5回目の核実験に対して、9月9日、北朝鮮の金正恩・国務委員会委員長に抗議文を送付し、すべての核兵器・核計画の即時放棄と北東アジアの安全と世界の恒久平和の実現を目指すことを強く要請しました。

議案の概要と審議結果 (賛成…○、反対…×)

会派略称 自無ク=自由民主党・無所属クラブ 公明=新宿区議会公明党
共産=日本共産党新宿区議会議員団 民無ク=民進党・無所属クラブ
新宿会=新宿区民の会 社民=社民党新宿区議会議員団
スタ新=スタートアップ新宿

平成28年第3回定例会 (9月15日~10月13日)

Table with columns: 議案名, 概要, 自無ク, 公明, 共産, 民無ク, 新宿会, 社民, スタ新, 議決結果. Rows include budget items, resolutions, and regulations.

平成28年 第4回定例会のお知らせ

★11月29日から12月8日までの予定です。主な日程は、次のとおりです。

- 本会議 11月29日(火) 午前10時から (代表質問等)
11月30日(水) 午前10時から (代表質問・一般質問、議案の提案説明等)
12月 8日(木) 午後 2時から (議案、意見書・決議の採決等)
常任委員会 12月 1日(木)・2日(金) 午前10時から
特別委員会 12月 5日(月) 午前10時から (防災等安全対策特別委員会、自治・議会・行財政改革等特別委員会)
12月 6日(火) 午前10時から (オリンピック・パラリンピック・文化観光等特別委員会)

- ★ぜひ傍聴にいらしてください。(区役所5階)
★手話通訳者または要約筆記者の配置もできます。
事前に議会事務局 (TEL5273-3534 FAX3209-9995) までご連絡ください。
★本会議は、「新宿区議会ホームページ」でインターネット中継(生中継・録画)を実施しています。ぜひご利用ください。

区政のこころを問う

中小企業、特に小規模事業者の支援について

自由民主党・無所属クラブ

代参 池田



池田 だいすけ

質問 グローバル化が進む時代にあつては、中小企業・小規模事業所に対する支援などによる地域経済の活性化が欠かせないところである。①(ア)ここ10年での区内事業所数の増減と事業主の年齢の推移は。(イ)後継者不足や事業主の年齢の推移が廃業につながる状況をどのように受け止め対処しているのか。(ウ)現存する中小企業への強化や支援を総合計画策定に向けてどのような方向付けしようとしているのか。②地域社会の活性化のためには、中小企業等への支援は施策の対象であり続けるものと認識するが区長の認識は。③(ア)新宿区における小規模事業者の特徴は。(イ)「事業の持続的発展」の視点での施策化はどのように事業化しているのか。

答弁 ①(ア)概ね10年で27%の事業所が減少、60歳以上の事業主の割合が増加し高齢化が進んでいる。(イ)高齢化と事業承継は中小企業支援策等の中でも重要な課題であると認識しており、後継者育成支援事業などに取り組んできた。(ウ)活力ある地域経済

を目指すことを基本的な方向とし、新たな産業振興プラン及び次期総合計画策定の中で中小企業を支援する取組みを示していく。②新宿区全体の8割強が小規模事業者であり、これらへの支援が産業振興施策の大きな柱であると認識している。③(ア)繁華街では入れ替わりが頻繁である一方、商店街などでは高齢化や後継者不在による廃業も少なくない状況にある。(イ)情報誌等へ事業承継の事例の連載や「持続的発展」をテーマに講演を予定している。また、大学などと産学連携による生活拠点型商店街の活性化支援を検討する。

健康なまちづくり

質問 組織を設けて、健康づくりを推進していく決意に大いに期待。①(ア)区全域での健康づくりの機運を醸成していくための具体的方法は。(イ)その成果指標の考えは。②民間でも「健康増進」が商品になる時代、区民にとってインセンティブの働く仕組みを今後の事業の中に組み込むことは難しいものなのか。③内視鏡検査の導入予定と現在の検討状況は。④(ア)骨髄移植等が推進されるよう積極的に取り組む必要があると考える。区の取組み状況を。(イ)骨髄提供にあたって、ドナーの負担と助成制度は。(ウ)ドナー及びドナーが従事する事業所に対する支援についての考えは。(エ)ドナー登録拡大に向けた今後の取組みは。

を指すことを基本的な方向とし、新たな産業振興プラン及び次期総合計画策定の中で中小企業を支援する取組みを示していく。②新宿区全体の8割強が小規模事業者であり、これらへの支援が産業振興施策の大きな柱であると認識している。③(ア)繁華街では入れ替わりが頻繁である一方、商店街などでは高齢化や後継者不在による廃業も少なくない状況にある。(イ)情報誌等へ事業承継の事例の連載や「持続的発展」をテーマに講演を予定している。また、大学などと産学連携による生活拠点型商店街の活性化支援を検討する。

を指すことを基本的な方向とし、新たな産業振興プラン及び次期総合計画策定の中で中小企業を支援する取組みを示していく。②新宿区全体の8割強が小規模事業者であり、これらへの支援が産業振興施策の大きな柱であると認識している。③(ア)繁華街では入れ替わりが頻繁である一方、商店街などでは高齢化や後継者不在による廃業も少なくない状況にある。(イ)情報誌等へ事業承継の事例の連載や「持続的発展」をテーマに講演を予定している。また、大学などと産学連携による生活拠点型商店街の活性化支援を検討する。

を指すことを基本的な方向とし、新たな産業振興プラン及び次期総合計画策定の中で中小企業を支援する取組みを示していく。②新宿区全体の8割強が小規模事業者であり、これらへの支援が産業振興施策の大きな柱であると認識している。③(ア)繁華街では入れ替わりが頻繁である一方、商店街などでは高齢化や後継者不在による廃業も少なくない状況にある。(イ)情報誌等へ事業承継の事例の連載や「持続的発展」をテーマに講演を予定している。また、大学などと産学連携による生活拠点型商店街の活性化支援を検討する。



暮らしやすいまちづくり

を指すことを基本的な方向とし、新たな産業振興プラン及び次期総合計画策定の中で中小企業を支援する取組みを示していく。②新宿区全体の8割強が小規模事業者であり、これらへの支援が産業振興施策の大きな柱であると認識している。③(ア)繁華街では入れ替わりが頻繁である一方、商店街などでは高齢化や後継者不在による廃業も少なくない状況にある。(イ)情報誌等へ事業承継の事例の連載や「持続的発展」をテーマに講演を予定している。また、大学などと産学連携による生活拠点型商店街の活性化支援を検討する。

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた施設の活用

新宿区議会六公明党

代参 北島



北島 としあき

質問 リオデジャネイロで、日本選手団は目覚ましい活躍をした。新宿区では、区民スポーツ人口をより増やしていくためにパラリンピック種目の「ボッチャ」や「ゴールボール」の体験教室などを通し、誰もが気軽にできるスポーツの普及に努めている。①東京2020大会の練習会場に新宿スポーツセンター、新宿コスミックスポーツセンターを提供し、子どもたちに選手とふれ合う機会を。②都の戸山多目的運動広場の整備計画に区民の声を反映するよう働きかけを。

を指すことを基本的な方向とし、新たな産業振興プラン及び次期総合計画策定の中で中小企業を支援する取組みを示していく。②新宿区全体の8割強が小規模事業者であり、これらへの支援が産業振興施策の大きな柱であると認識している。③(ア)繁華街では入れ替わりが頻繁である一方、商店街などでは高齢化や後継者不在による廃業も少なくない状況にある。(イ)情報誌等へ事業承継の事例の連載や「持続的発展」をテーマに講演を予定している。また、大学などと産学連携による生活拠点型商店街の活性化支援を検討する。



東京2020大会に向け、誰もが気軽にスポーツを

骨髄移植ドナーに対する支援の充実

質問 骨髄移植等は人命に大きく関わっている治療法であるが新規ドナー登録数が減少している。①ドナー登録拡大に向けた区の取組みは。②ドナー支援について、区の対応は。

を指すことを基本的な方向とし、新たな産業振興プラン及び次期総合計画策定の中で中小企業を支援する取組みを示していく。②新宿区全体の8割強が小規模事業者であり、これらへの支援が産業振興施策の大きな柱であると認識している。③(ア)繁華街では入れ替わりが頻繁である一方、商店街などでは高齢化や後継者不在による廃業も少なくない状況にある。(イ)情報誌等へ事業承継の事例の連載や「持続的発展」をテーマに講演を予定している。また、大学などと産学連携による生活拠点型商店街の活性化支援を検討する。

※【近居】 親世帯と子世帯などが、住居は異なるものの日常的な往来ができる範囲に居住すること。

公共施設等総合管理計画について

日本共産党新宿区議会議員団 代表質問



佐藤 佳一

質問 ①区は「施設白書」をベースに「公共施設等総合管理計画」策定に着手し、9月に計画の骨子案を示した。策定理由のひとつに人口減を挙げているが、区の将来推計人口は2030年まで増加し続け、その後減少するもの2060年時点でもなお2010年を上回っており、人口減とは言えない。今後の施設需要の変化について区の認識は。②区は、施設の更新にかかる費用の将来予算不足額を1年度当たり約13億円と試算している。費用は、総務省の試算ソフトで一律的に算出しており、区の財政状況とかけ離れているのでは。③計画策定のための有識者会議は、施設削減ありきの議論。区政をどの程度理解したうえでのものなのか疑問。区はどう受け止めているか。

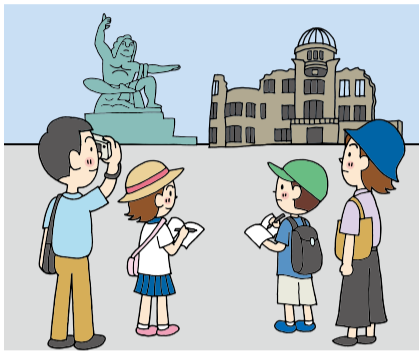
回答 ①2030年以降、年少人口と生産年齢人口は減少し高齢者人口が大きく増え、社会保障関連サービスの需要が大幅に増える予測。ライフスタイルの多様化・複雑化やICT化の進展等も今後の行政需要に大きく影響すると想定している。②将来更新費用は、各自治体間の比較が可能な総務省推奨のソフトで試算した。将来予算不足額は仮定条件での数値だが、不足額にどのように対応していくかの視点が重

来基金の助成、活動場所としての地域センターの優先受付、衛生管理等の相談等で、活動が広がるよう支援を充実していく。

要なため、ひとつの指標として捉えている。③有識者会議では区の現状や施設のあり方を踏まえた議論がされており、意見は経営的マネジメントの視点から将来を見据えたものとして真摯に受け止めている。

区長の政治姿勢と平和施策

質問 ①今年8月に行われた国連作業部会は、国連総会に対し、2017年に核兵器禁止条約の交渉を開始するよう勧告する報告書を採用した。唯一の被爆国である日本が採択を棄権したことは被爆者等への背信行為である。政府に厳重な抗議を。②毎年、広島・長崎への親と子の平和派遣の応募数が派遣数を上回っている。派遣数増加の検討を。③広島市は、他の自治体と共催して原爆展を開催している。新宿区も広島市との共催を。



親と子の平和派遣に多くの参加者を

回答 ①日本が安全保障上の理由で採択を棄権したことは残念に思う。今後もすべての国の核兵器の廃絶を全世界に訴えてい

く。②平和派遣参加者は、戦争や原爆の悲惨さや平和の大切さを周囲に伝えていくことの意義を学んでいる。派遣数を増やすのではなく、自主的な活動への支援などで平和の大切さを伝えていきたいと考える。③現時点で広島市との共催の予定はないが、今後の平和展で共催可能な方法について検討する。

障害者施策の充実を

質問 ①相模原市の障害者施設で起きた殺傷事件の容疑者が障害者への差別的発言を繰り返していることと報じられているが、人命に優劣をつけることは許されない。区長自身が障害者差別を明確に否定するメッセージの発信を。②障害者差別解消法施行に伴い、区の更なる取組みが

必要。障害者差別解消のための条例制定を。③国や鉄道事業者に対し、視覚障害者等の線路転落を防止するホームドアを早急に設置するよう働きかけを。

保育士の確保について

民進党・無所属クラブ 代表質問



小野 裕次郎

質問 待機児童問題の解決のため、慢性的な保育士不足を解消する必要がある。①保育士が子どもを保育園に預けられず、復職できない事態が生じている。入園者を決定するための指数に加算することで優先的に預けられる制度が必要では。②保育士不足解消のための方策は。③就職・復職後の就労継続を支援するための処遇改善策は。

回答 ①来年度の入園募集に一定時間勤務する保育士は指数の加算を設け、保育士に内定している場合は基本指数を減点し

必要。障害者差別解消のための条例制定を。③国や鉄道事業者に対し、視覚障害者等の線路転落を防止するホームドアを早急に設置するよう働きかけを。

回答 ①学校事務効率化検討チームを設置し事務処理の効率化等に取り組んでおり、引き続き軽減に努める。②収納管理システム構築など多くの課題があり、国が策定予定の指針を踏まえ環境整備を検討する。③適正な受益者負担の観点から引き続き食料費相当額の負担をお願いする。

情報化について

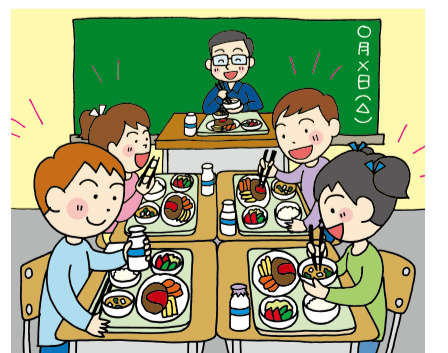
新宿区民の会 代表質問



えのき 秀隆

質問 人工知能の発展は目覚ましく、囲碁AIがプロ棋士に勝ったニュースに衝撃を受けました。区の人口知能活用に関する現状認識を踏まえた新たな情報化戦略計画策定に向けた対処は。

回答 人工知能の高度化や応用例、加速度的に進展する情報通信技術の動向に注視し、さらなる区民の利便性向上等を目指した計画となるように取り組み。



学校給食費の公会計化を

教育分野におけるICTの利活用

質問 学校でのタブレット端末導入について今後の取組みは。



学校に1人1台のタブレット環境整備を

テロのリスクを考慮し、羽田新ルートでは安全・安心を

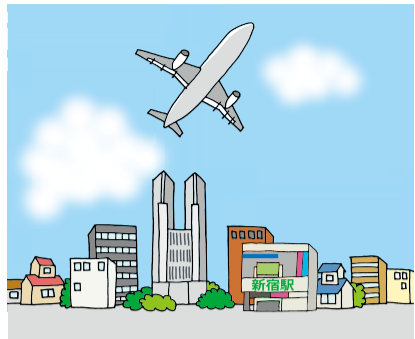
スタートアップ新宿 代表質問



伊藤 陽平

質問 羽田新ルート案では都庁、新宿駅、防衛省などテロのターゲットになりやすい。テロの可能性を区はどう考えるのか。

回答 テロ対策は国際社会が協力して取り組むべき重要な課題。我が国も保安体制の強化が必要と認識している。今後も国に、騒音や落下物対策だけでなく、テロ対策なども含め広く安全・安



新宿の上空にも、安全・安心対策を

心対策を進めるよう要請する。

区財政の現状と今後の財政運営について

社民党新宿区議会議員団

代参質問



かわの 達男

質問 27年度決算で実質単年度収支は26億8千万円の赤字、健全化判断比率も更に改善した。良好な区財政を区民生活に活用すべきだ。①区財政の現状をどう認識しているか。②法人住民税の一部国税化やふるさと納税による減収で区財政への影響は。③固定資産税と市町村住民税法人分を区財源に戻すための改善策は。④区としての財源確保は。

回答 ①日本経済は足踏み状態で区財政の環境は先行き不透明。

若者の政治参加について

質問 議員が学校で出前授業を行うことについて教育委員会の考えは。

回答 実施には様々な配慮が必要であり、学校教育の政治的な中立を確保した上で慎重に対応していく必要があると考える。

質問 議員が学校で出前授業を行うことについて教育委員会の考えは。

回答 実施には様々な配慮が必要であり、学校教育の政治的な中立を確保した上で慎重に対応していく必要があると考える。



区財政は良好、区民要望の強い施策に活用を!!

一般質問



自無ク 桑原 羊平

いわゆる「民泊」について

質問 ①新宿における「民泊」問題をどのように受け止めているのか。②適正なルールづくりについて、いつまでにどのような

なものを策定していくのか。

回答 ①苦情等が増え地域的広がりが進んでいるなど、深刻な状況であると認識。②年度内の法案提出に間に合うよう、住居専用地域での「民泊」ができないことにするなど、必要な条例等の制定を準備していく。



公明 木もとひろゆき

東南地域待機児童解消について

質問 ①区は、子育て世代が増加する東南地域を重点整備地域としているが、現状と見通しは。②保育ママ等の家庭的保育は大

切な資源なので、支援を充実すべき。

回答 ①28年4月には、94名の待機児童が16名に減少した。さらに認証保育所の認可移行等により待機児童ゼロを目指していく。②保育料返還事務の改善と補助者の設置を検討する。



共産 田中のりひで

西武新宿線 開かずの踏切の解消対策

質問 ①中井・高田馬場駅間の開かずの踏切解消に向けた西武鉄道や国・都への働きかけは。

②区が先頭に立ち町会・関連団体との協力で持続的な取組みを。

回答 ①国・都・西武鉄道の連絡調整会議で開かずの踏切解消に必要な都市計画事業の実施を要請している。②中井・野方駅間の工事着手を踏まえ、早急に町会等との協力関係を研究する。



民無ク 三雲 崇正

ヘイトスピーチへの対策

質問 いわゆるヘイトスピーチ解消法が成立し、地域の実情に対応した施策を講じるよう求めている。憲法の集会や表現の自

由を尊重しつつ、区の公園等の差別的言動等への利用を回避するため、根拠となる条例上の規定が必要だが、利用許可の判断基準等を規定する予定は。

回答 規定する考えはないが、国等から運用指針が示された場合、必要網等の制定も検討していく。



新宿会 のづケン

防災備蓄物資のあり方

質問 首都直下地震の際、多くの区民が避難所生活を余儀なくされる。区は総量で8万人分の防災備蓄物資を用意している。

①区民ニーズを踏まえた選択を。②発災時に学校避難所での安全かつ迅速な配布方法の検討は。

回答 ①アレルギー対応の粉ミルク等や熊本地震の被災者ニーズ等を踏まえて備蓄。②避難所運営管理協議会等を中心に訓練の実施と検証で実効性を高める。



公明 豊島あつし

地域包括ケアシステムの構築に資する「プロボノ」の活用

質問 ①「地域の活力」を生かした高齢者を支える仕組みづくりの進捗状況は。②地域の方に

プロボノを知ってもらうため、「東京ホームタウンプロジェクト」への参加を呼び掛けている。

回答 ①地域安心カフェの運営支援、民生委員等による相談活動等様々な施策を組み合わせて、総合的に推進している。②今年度中に説明会を開催する。



民無ク 久保 広介

区有地・都営地の活用について

質問 ①区有施設整備を計画・効果的に行うため将来の地域需要や区民ニーズを把握し反映すべき。②都営地である旧市ヶ谷

商業高校跡地活用に関し区民や区の要望を都に申し入れるべき。

回答 ①将来展望や区民意見を踏まえ施設整備の基本方針を定める。②都が地元の意見を踏まえ検討すると表明したため、区民に有益な活用方法に関し必要な意見、要望等も上げていく。



新宿会 ふじ川 たかし

都知事の給与半減

質問 小池都知事は、都民ファーストを掲げ、身を切る改革、給与半減を選挙公約に当選し、今

定例会に「都知事の給与半減の条法案」を提出し、都議会の対応が注目されている。区長の給与等を下げる要請があった場合、どのように対応する考えか。

回答 職務内容や社会的責任の重さ等を考慮し区民の理解を得られなければならない。この考え等により適宜適切に判断する。



公明 中村 しんいち

選挙事務の取組みについて

質問 ①18歳世代が持続して選挙に参加していくための取組みは。②高齢者等から、期日前投票所を投票しやすくように整備

してほしいと、改善を求められている。担当部署だけでなく総合的に取り組むべき。

回答 ①引き続き、若者の当事者意識を高める主権者教育に取り組んでいく。②投票所においては親切丁寧な説明に努め、さらに関係部署と検討していく。



公明 赤羽 つや子

中井駅周辺の整備について

質問 ①開かずの踏切対策とまちの賑わいにつながる南北自由通路の開通時期とその効果は。②今後の中井駅周辺整備計画は。

回答 ①平成28年12月開通の予定。開通と共に駅前広場、防災コミュニティスペースを整備することで、安全性や利便性が改善し、まちの発展につながる。②駅前広場、北側駐輪場、人道橋等を平成29年7月までに整備していく。

新宿区議会 ホームページもご覧ください

パソコンやスマートフォンなどを使い、区議会のインターネット中継(生中継・録画)、会議録の検索のほか、議会の予定や、議員名簿、請願・陳情、意見書の全文などをご覧いただくことができます。



インターネット中継 (生中継・録画)

※【プロボノ】 各分野の専門家が、職業上持っている知識・スキルや経験を生かして社会貢献するボランティア活動全般。

※【東京ホームタウンプロジェクト】 地域の問題解決にプロボノの力を生かし、東京らしい地域づくりを目的とする東京都の事業。

各会派の意見

決算特別委員会概要

9月16日の本会議で、平成27年度一般会計及び特別会計(3会計)の歳入歳出決算審査を行うため、委員18名で構成する「決算特別委員会」を設置しました。

「決算特別委員会」では、9月20日から10月3日までの延べ9日間にわたり、平成27年度予算が適正かつ効果的に執行されたかどうかの審査が行われました。

10月3日には、各会派の賛成・反対の討論が行われ、採決の結果、4会計とも賛成多数で原案どおり認定すべきものと決定しました。

なお、この委員会決定について、それぞれ4名の委員から少数意見を留保する旨の申し出がありました。



▲委員の起立による採決

決算特別委員会委員 (18名)

委員長	沢田 あゆみ (共産)
副委員長	えのき 秀隆 (新宿委)
副委員長	桑原 羊平 (自無)
理事	豊島 あつし (公明)
理事	小野 裕次郎 (民無)
理事	川村 のりあき (共産)
理事	木もと ひろゆき (公明)
理事	井下田 栄一 (公明)
理事	三雲 崇正 (民無)
理事	野もと あきとし (公明)
理事	渡辺 清人 (自無)
理事	久保 広介 (民無)
理事	あざみ 民栄 (共産)
理事	ひやま 真一 (自無)
理事	吉住 はるお (自無)
理事	宮坂 俊文 (自無)
理事	かわの 達男 (社民)
理事	雨宮 武彦 (共産)

区が取り組むべき課題に財源を重点的に配分し、実効性の高い施策構築の予算執行を評価

自由民主党・無所属クラブ

平成27年度一般会計と3特別会計は、いずれも適正に執行されたものと認め、認定に賛成しました。

一般会計の歳入で、特別区税が10億円、地方消費税交付金が41億円の増となるなど全体では46億円の増となりました。一方、歳出では、待機児童解消対策や障害者自立支援給付等の扶助費が16億円の増となり、投資的経費は、区営住宅の再編整備や子ども園建物買収などにより19億円の増、その他の経費では、特別会計への繰出金が8億円の増や学童クラブ事業委託の増などにより物件費が10億円の増

とるなど全体では43億円の増となりました。決算収支では、実質単年度収支は27億円の黒字となりました。区財政の改善努力が求められる中、第二次実行計画の着実な取組みを始め、適正な予算執行が行われています。

現在、区財政は改善されつつありますが、引き続き、事業の無駄を排し、内部努力を徹底するとともに、行政評価の取組みによる施策の充実・見直し・再構築を図るなど、真に区民のニーズに応じた的確な行政サービスを提供していくことが欠かせません。

今後、さらに進む少子高齢化による人口構造の変化などを始めとした社会経済状況の変化に留意しつつ、中長期な視点に立って、健全な区財政の維持が求められます。現下の厳しい区財政にあつて、引き続き、区民生活の課題解決と行財政改革の取組みが必要です。

区民生活を守り支えるため、区民ニーズの高い課題への重点的な取組みを評価

新宿区議会 公明党

平成27年度、一般会計及び3特別会計歳入歳出について、いずれの議案も適正な決算であることを認め、原案どおり賛成しました。

平成27年度予算は、「将来にわたり安定した財政基盤を確立し、区民生活を支えるとともに、基本構想の実現に向けて、第二次実行計画を仕上げる予算」と位置付けて編成され、保育所建設事業助成などの待機児童解消対策、経済対策の一環として実施された臨時福祉給付金などに、予算の補正を行い、緊急性が高く、重要な課題に、適切かつ迅速に取り組みました。

平成27年度決算は決算意見書にも示されている通り、7年振りに財政調整基金からの取崩しがなく、実質単年度収支は3年連続の黒字となり、区財政は改善の兆しを示しています。

しかしながら景気の先行きが不透明な中、社会保障関連経費の増加や、更新時期を迎える老朽化した区有施設への対応等の更なる財政需要にこたえつつ、区民福祉の維持・向上を図るためにも、更なる財政基盤の強化に向けた取組みを総合的に進めていく必要があります。

今後は、健全な区財政を確立するために、将来を見据えた施設のマネジメントやマイナンバー制度による業務の効率化・区民サービスの利便性向上などを積極的に進め、更なる行財政改革に取り組み、重要な課題に、強く望みます。

区財政は3年連続黒字 健全な財政を活用し 区民生活の擁護と子育て支援の充実を!

日本共産党新宿区議会議員団

2015年度一般会計及び3特別会計歳入歳出決算については、反対をしました。

2015年度予算編成にあたり、私たちは区内の各種団体との懇談や、1,990通の区政アンケートなどを反映した426項目の予算要望書を区長に提出しました。その結果、私立認可保育園4園の新設、障害児の訪問保育の実施、家具転倒防止対策の強化、建築物等耐震化支援の事業の一部所得制限撤廃など、私たち区議団と、区民の要望が2015年度予算に取り入れられました。

一方、高齢者・障害者のプール利用料の無料化、建築物等耐震化支援事業の対象に建て替えを加え、所得制限と地域格差をなくすこと、がん検診の無料化、低所得者世帯に月1万円の家賃助成、幼稚園児・小学校1年生に防災頭巾の配布など、12項目の施策の修正案を提案しましたが、受け入れられませんでした。

しかし2015年度決算は、特別区税の増などにより実質単年度収支は3年連続黒字であり、新宿区の財政は引き続き健全であり、決算に照らせば実現可能でした。

区民生活の実態は、消費税増税、年金受給額の減額、国保・介護などの保険料・利用料の負担増などで一層厳しくなっていることが、質疑を通して明らかになりました。新宿区が区民生活を守り、子どもへの貧困対策、待機児童解消に財政力を有効に活用し、本来の役割を果たすことが求められています。



新宿区は、昭和61年に「新宿区平和都市宣言」を行い、各種平和啓発事業を実施しています。議会では毎年、沖繩(6月)、広島、長崎での平和式典に議員を派遣しています。

広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式

71年前、人類史上最初の原子爆弾が広島市に投下されて多くの命を奪い、今なお多くの人々が後遺症に苦しんでいます。8月6日、広島市中区の平和記念公園において、原子爆弾による犠牲者の慰霊と世界恒久平和の実現を祈念する平和記念式典が開催されました。核兵器の廃絶を謳う平和都市宣言を行った新宿区の議会からは、雨宮武彦、吉住はるお及び三雲崇正の3名が式典に参列しました。

今年はおバマ大統領及びG7外相の広島訪問後初めての式典であり、広島市議会議長による式辞、広島市長による平和宣言及び内閣総理大臣の挨拶のいずれにおいても、オバマ大統領演説に言及し、核兵器のない世界の実現に向けた努力を誓う言葉が語られました。



平成27年度決算

決算特別委員会

決算審査における主な質疑

- 持続可能な財政運営のための財政規律の確保について
- 2020東京オリンピック・パラリンピックに関連してスポーツで活躍した選手の顕彰について
- 区民サービスの質の維持・向上を担保した丁寧な合意形成による施設マネジメントについて
- マインナー制度を活用した行政改革の推進について
- 公共施設等総合管理計画の策定について
- スクールソーシャルワーカーの増員等子どもの貧困対策について
- 小学校での英語の教科化に対応する準備について
- ひとり親家庭の支援について
- 路上喫煙対策について
- 区民保養施設のあり方について
- 特別区の自治権拡充と財政自主権の確立について

3年連続の収支黒字を評価しつつ、区民ニーズに合った生活向上施策の更なる充実を要望

民進党・無所属クラブ

平成27年度は、実質単年度収支の3年連続での黒字を達成しましたが、まだまだ社会経済情勢は不安定であり、将来を見据えた財政運営を求めました。

また、子育て環境の充実、特別な支援を必要とする児童・生徒への支援、高齢者・障害者支援、高度防災都市化や地域振興等の取り組みを確認した上で、①区民ニーズと費用対効果とを調和した公共施設等総合管理計画の策定、②待機児童問題の完全な解消に向けた保育士確保等の取り組み、③小学校での英語教育の教科化への準備、④建築物耐震化支援事業や耐震シェルター・耐震ベッド及び家具転倒防止器具の設置推進・勸奨等の「命を守る施策」の積極的な推進、⑤ひとり親家庭へのより細やかな支援など、更なる区民生活向上の取り組みを求めました。

さらに、法人住民税の一部国税化や社会保障・税番号制度の実施に伴う費用に対する国庫支出金等の問題など、断固とした態度で国との交渉を進め、適正な地方自治のあり方を示すことを求めました。

最後に、来年度予算につき、第三次実行計画及び基本構想・総合計画の総仕上げとともに、特別委員会で行った指摘・要望を踏まえた予算編成を提案しました。



えのき 秀隆 副委員長 沢田 あゆみ 委員長 桑原 羊平 副委員長

社会経済情勢を的確に見極め、直面する諸課題に対応、将来の財政も考慮した決算と評価

新宿区民の会

平成27年度予算は次の2点を基本として編成されました。まず第1点目は、限られた財源を効果的に活用し、第二次実行計画を達成するとともに、社会経済情勢の変化に機動的かつ的確に対応することです。第2点目は、歳入確保を図るとともに、行政評価や決算実績に基づき徹底した経費削減を行い、安定した財政基盤の確立に努めることです。

新宿区民の会は「情報公開なくして改革なし」の考えのもと、区政情報の公開を行い、区民と共に区政改革に邁進できる体制をとることを求めて参ります。

平成27年度 各会計歳入歳出決算総括表

会計別	歳入	歳出	差引額
一般会計	1,437億 945万5,304円	1,393億9,174万7,218円	43億1,770万8,086円
国民健康保険特別会計	429億2,979万1,903円	423億8,832万 12円	5億4,147万1,891円
介護保険特別会計	225億2,584万5,975円	221億1,954万6,280円	4億 629万9,695円
後期高齢者医療特別会計	65億 999万8,275円	64億7,691万3,264円	3,308万5,011円
合計	2,156億7,509万1,457円	2,103億7,652万6,774円	52億9,856万4,683円

堅調な区財政を子育てや震災対策に区民のくらしや福祉を優先する区政の実現

社民党新宿区議会議員団

27年度決算でも区税収は順調で、実質収支も3年連続して黒字、財政積立金も増加しました。しかし、区民のくらしは、保険料等の値上げや実質賃金の低下が止まらず、たいへんな状況です。新宿区は子どもの人口が増え続けている。保育園や学童クラブなどの増設は待ったなしです。小学校の児童数も増加し、35人以下学級の全学年への早期実施と合わせ抜本的な対策で、いじめを無くし、きめ細かな教育を求めます。首都直下地震へ建物の耐震化の促進など高齢者や障がい者にもやさしいまち新宿を実現します。



長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典

8月9日の「原爆の日」に長崎市松山町の平和公園で、被爆71周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典が実施されました。

新宿区議会からは代表として、佐藤佳一、北島としあき、のづけんの3名が参列しました。

平和祈念式典では、この一年間で死亡が確認された方々の名前が記された原爆死者名簿が奉安箱に納められ、犠牲者に水と花が捧げられた後、原爆投下時刻の午前11時2分に、鐘の音に合わせて黙とうが行われました。

長崎市長が「平和宣言」で世界各国に対して核兵器の根絶と平和の尊さを述べ、広島とともに核兵器のない世界と恒久平和の実現に向けて、全力を尽くし続けることを宣言しました。



委員会の動き

障害者のスポーツへの参加拡大等に係る 一般会計補正予算などの議案を可決

総務区民委員会

●今定例会では、先議を含む補正予算など議案9件と、新規付託の請願2件を審査し、5件の報告を受け質疑を行いました。

●一般会計補正予算(第4号)は、薬王寺ことぶき館の施設整備に関連して反対がありました。賛成多数で可決しました。その他の議案は、いずれも全員賛成で可決しました。

●新たに付託された「固定資産税・都市計画税に係る軽減措置の継続」について2件の請願は、採択と

しました。

●5件の報告のうち「区有施設あり方に係るアンケート調査(施設利用者)の実施結果について」に

対しては、「恣意的にみえる」「自由意見を大切にすべき」などの意見がありました。また「マイナンバーカード(個人番号カード)の交付状況等について」では、交付枚数が人口比68%であり、今後も未受領者に督促を行っていくとの報告を受けました。

「新宿区健康づくりに関する調査」や 介護予防把握事業の実施などを質疑

福祉健康委員会

●今定例会では、議案7件と新規付託6件を含む8件の陳情を審査し、6件の報告を受け質疑を行いました。

●一般会計補正予算(第4号)は賛成多数で、他の議案6件は全員賛成で、可決しました。

●「平成27年度指定管理者の管理業務に関する事業評価及び労働環境モニタリング実施結果」、「介護予防把握事業の実施状況」、「薬王寺児童館等合築施設の改修工事」、「旧



新宿区立中井駅南北自由通路条例などの 議案を審査

環境建設委員会

●今定例会では、議案5件、陳情4件を審査し、報告3件を受け、質疑を行いました。

●「新宿区立中井駅南北自由通路条例」、「新宿区路上等障害物による通行の障害の防止に関する条例」、「一般会計補正予算(第3号)及び一般会計補正予算(第4号)」の4件の議案について審査し、全員賛成で可決しました。また、議員提出議案第10号「新宿

区解体工事に係る計画の事前周知に関する条例」は賛成多数で否決となりました。

●継続審査中の「榎町地域のシンボル・弁天町の巨樹エノキの保存を求める陳情」について、質疑を行いました。4件の陳情については、いずれも今後の経過を議会として見守り、注視していくことから引き続き継続審査としました。

薬王寺児童館併設の私立保育所整備に 伴う改修工事等の補正予算などを審査

文教子ども家庭委員会

●今定例会では、議案3件の説明と、報告9件を受け、質疑を行いました。

●補正予算は、「薬王寺児童館併設の私立保育所の整備」、「保育士の負担軽減のための保育業務支援システム導入」、「保育所等の事故防止・事故後の検証のためのビデオカメラ設置」等の内容で、賛成多数で可決し、他2件の議案は全員賛成で可決しました。

●児童館12か所と富久町保育園及びかしわヴィレッジの「平成27年度指定管理者の管理業務に係る事業評価について」、「ひとり親家庭向け講演会・相談会の実施について」、「新宿せいが保育園の保育所型認定こども園への移行について」、「小学校学校選択制の各学校別状況一覧及び平成29年度新入学区立小学校の抽選について」など9件の報告を受け質疑を行いました。

補正予算などを審査し、土砂災害警戒区域 に係る基礎調査結果について質疑

防災等安全対策特別委員会

●今定例会では、補正予算1件と、陳情2件を審査し、報告を1件受けました。

●一般会計補正予算(第4号)中、歳出第2款第3項防災費については、熊本地震の被災地へ支援

した。

●継続審査となっている2件の陳情については、いずれも引き続き継続審査としました。

●土砂災害警戒区域等に係る基礎調査の結果について報告を受け、質疑を行いました。本件は、平成27年1月に改正された土砂災害防止法に基づくもので、新宿区内の自然

斜面について調査し、公表するものです。●各地で豪雨による河川の氾濫などで多くの犠牲者が出ました。「災害に強いまちづくり」の重要性を改めて認識しています。

平成28年度都区財政調整(当初算定) について質疑

自治・議会・行財政改革等特別委員会

●今定例会では、平成28年度都区財政調整(当初算定)についてを議題としました。

●「自治・議会・行財政改革等特別委員会」

●質疑の中で、「市町村住民税法人分と固定資産税が当区の収入になるとすれば、300億円を超える」、「都側に対して、再開発だけでは足りない、都心区としての行政需要を受け止めさせるべき」、「区民に分か

りやすい透明な議論を」等、様々な意見が出されました。また、昨年度との比較、東京都との協議への区の姿勢と今後の取組みについても質疑を行いました。●今後とも、新宿区の自治権拡充、議会改革、行財政改革について、議論と取組みを進めていきます。

新宿区立漱石山房記念館条例を可決

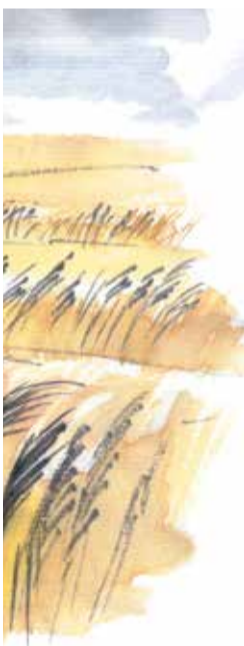
オリンピック・パラリンピック・文化観光等特別委員会

●今定例会では、議案2件を審査し、報告11件を受け、質疑を行いました。

●「新宿区立漱石山房記念館条例」及び「夏目漱石記念施設整備基金への寄附金の積立等を計上した補正予算」は、全員賛成で可決しました。

●「新宿区文化芸術振興会議第3期報告書について」、「各指定管理者の管理業務に係る事業評価について」、「新宿区夏目漱

石記念施設整備プロジェクトVol.7について」、「新宿区産業と企業等の事業活動に関する調査の中間報告について」、「新宿応援セールの実施結果について」、「産業振興フォーラムの開催について」、「新宿産業観光フェア2016の開催について」、「伊那市との連携による生鮮三品小売店連絡会研修会の実施について」等の報告を受け、質疑を行いました。



皆様から託された

請願・陳情の審議結果

請願・陳情の内容は区議会ホームページをご覧いただくか、議会事務局までご連絡ください。

〔1〕は審査を行った委員会名

採択 2件

□固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する請願 (同件名ほか1件) [総務区民委員会]

継続審査 5件(新たに提出されたもの)

□新宿区における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情 [福祉健康委員会]
□東京都新宿区における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情 [福祉健康委員会]

□受動喫煙防止条例の早期制定に関する陳情 [福祉健康委員会]

□新宿区における受動喫煙防止に関する陳情 [福祉健康委員会]

□受動喫煙となる場所への喫煙所設置の禁止条例に関する陳情 [福祉健康委員会]

審議未了 1件

□薬王寺ことぶき館のお風呂の存続を求める陳情 [福祉健康委員会]

あともがき

平成28年第3回定例会の記事を中心にとまとめた議会だよりをお届けします。本紙についてのご意見、ご要望がございましたら、議会事務局までお寄せください。

編集委員

- 下村 治生 川村 のりあき
- 有馬 としろう 三雲 崇正
- 池田 だいすけ ふじ川 たかし
- 豊島 あつし